

GLOBAL 30 同志社大学SDワークショップ 大学職員のグローバル化

留学生の受入れを考える ～留学生の多様化に伴う生活支援のあり方～

同志社大学

国際連携推進機構 国際センター

留学生課 中原 伸夫

AGENDA

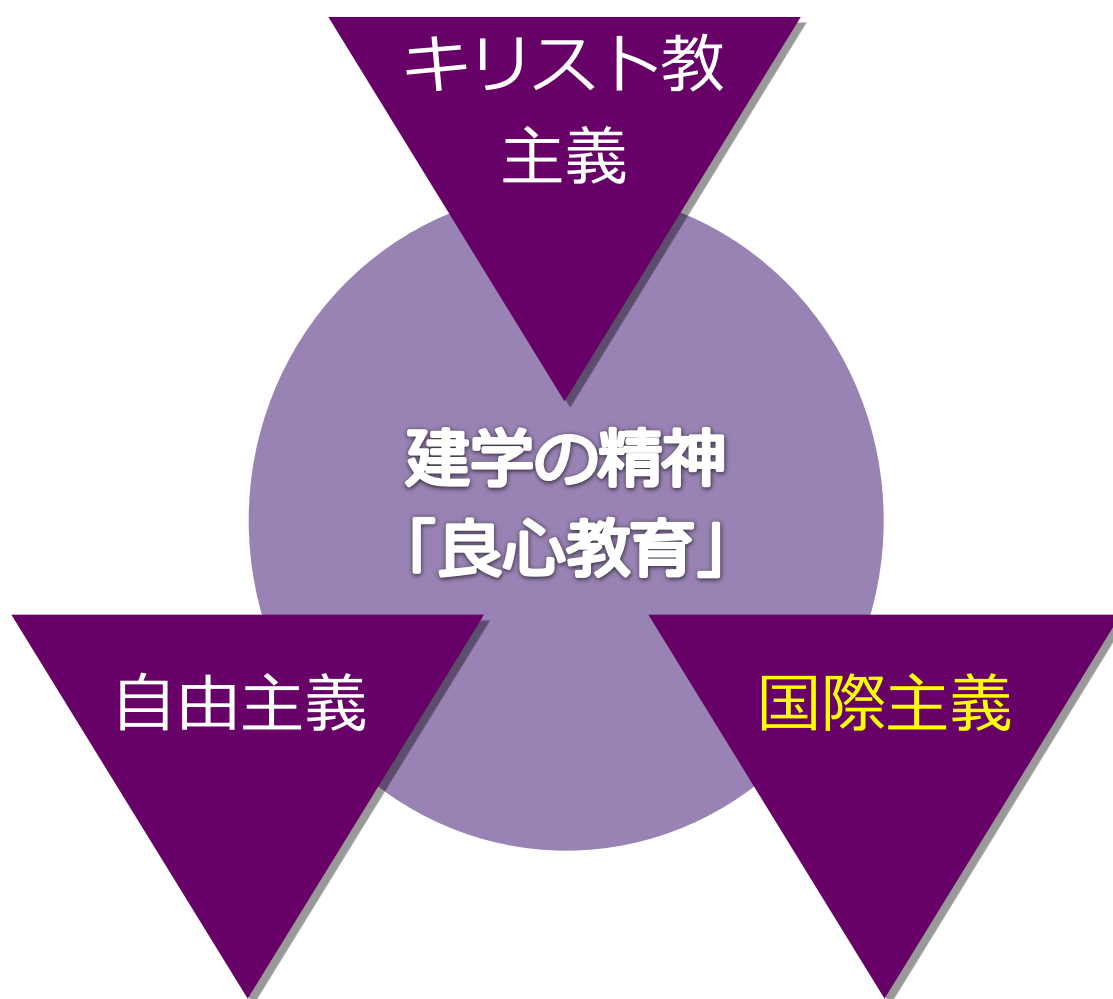
▼同志社大学の国際化・グローバル化の現状

▼グローバル化への加速

▼留学生の多様化に伴う諸課題

▼国際部門における職員の役割とは？

同志社大学 3つの教育理念と5つの教育目標

**1. 高い倫理観と豊かな人間性の育成**

同志社大学は、高い倫理観と幅広い教養をそなえた、品格ある人物を育成する。

2. 自治自立の精神と行動力の育成

同志社大学は、批判的・科学的思考力をもって、自ら問題を発見、解決できる自立した人物を育成する。

3. 生涯を通じて社会に貢献する精神と行動力の育成

同志社大学は、生涯を通じて真理を探究する精神をそなえ、積極的に市民社会に貢献できる人物を育成する。

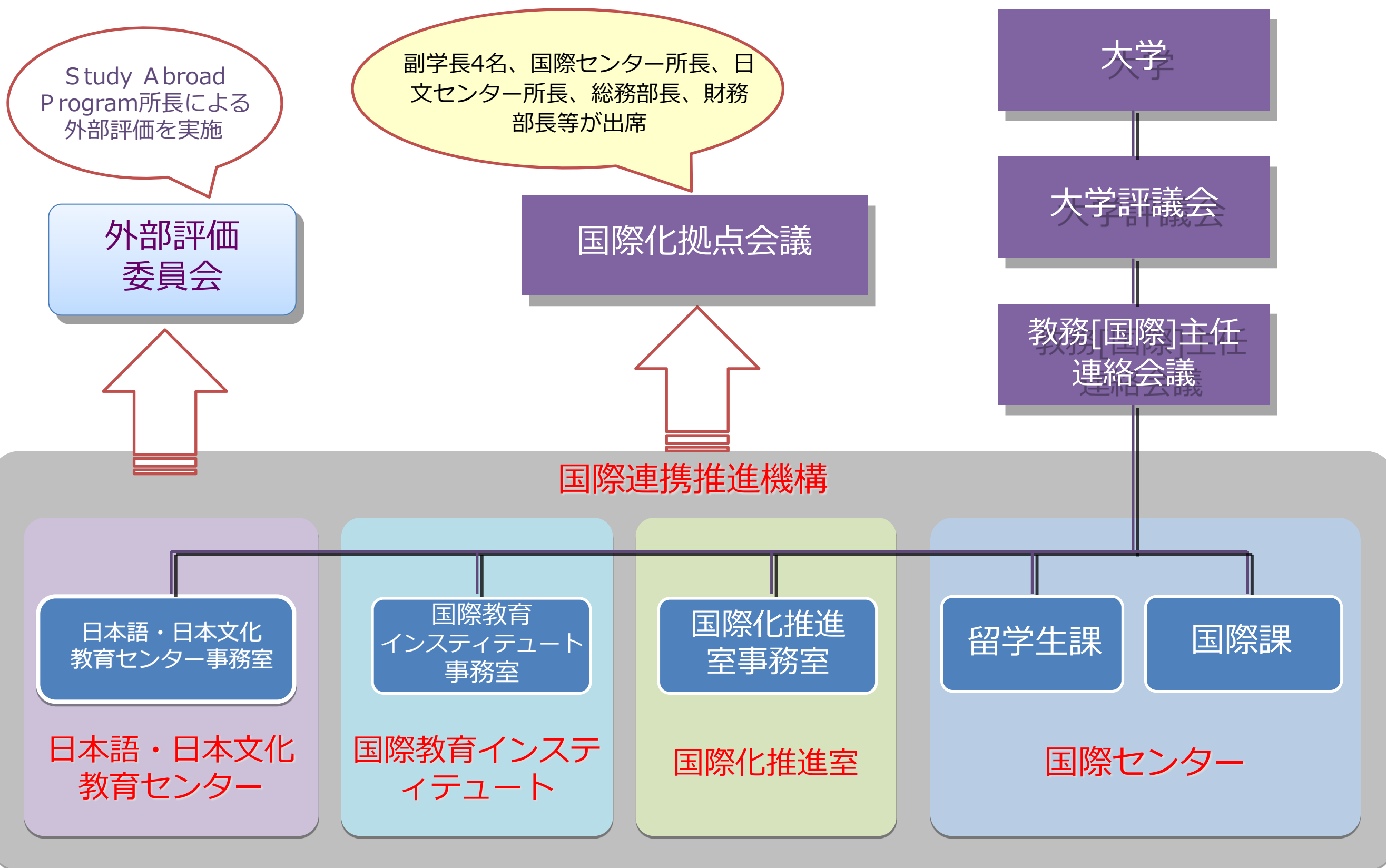
4. 国際社会に対応できる語学力と行動力の育成

同志社大学は、優れた外国語運用能力をもって、国際社会で広く活躍できる人物を育成する。

5. 寛容な精神の育成

同志社大学は、多様な価値観を受容し、世界の平和に貢献できる人物を育成する。

グローバル化の取組・運営方針の審議・決定



同志社大学 基礎データ（2012年5月1日現在）

学部数	13学部 1インスティテュート
大学院数	16研究科
専任教員数 ▼うち外国人教員	778人 61人
専任職員数 ▼うち国際連携推進機構	320人 20人
大学間協定校 ▼うち派遣可能大学数	37ヶ国・165大学 31ヶ国・135大学 ※2012年10月30日現在

同志社大学 基礎データ（2012年5月1日現在）

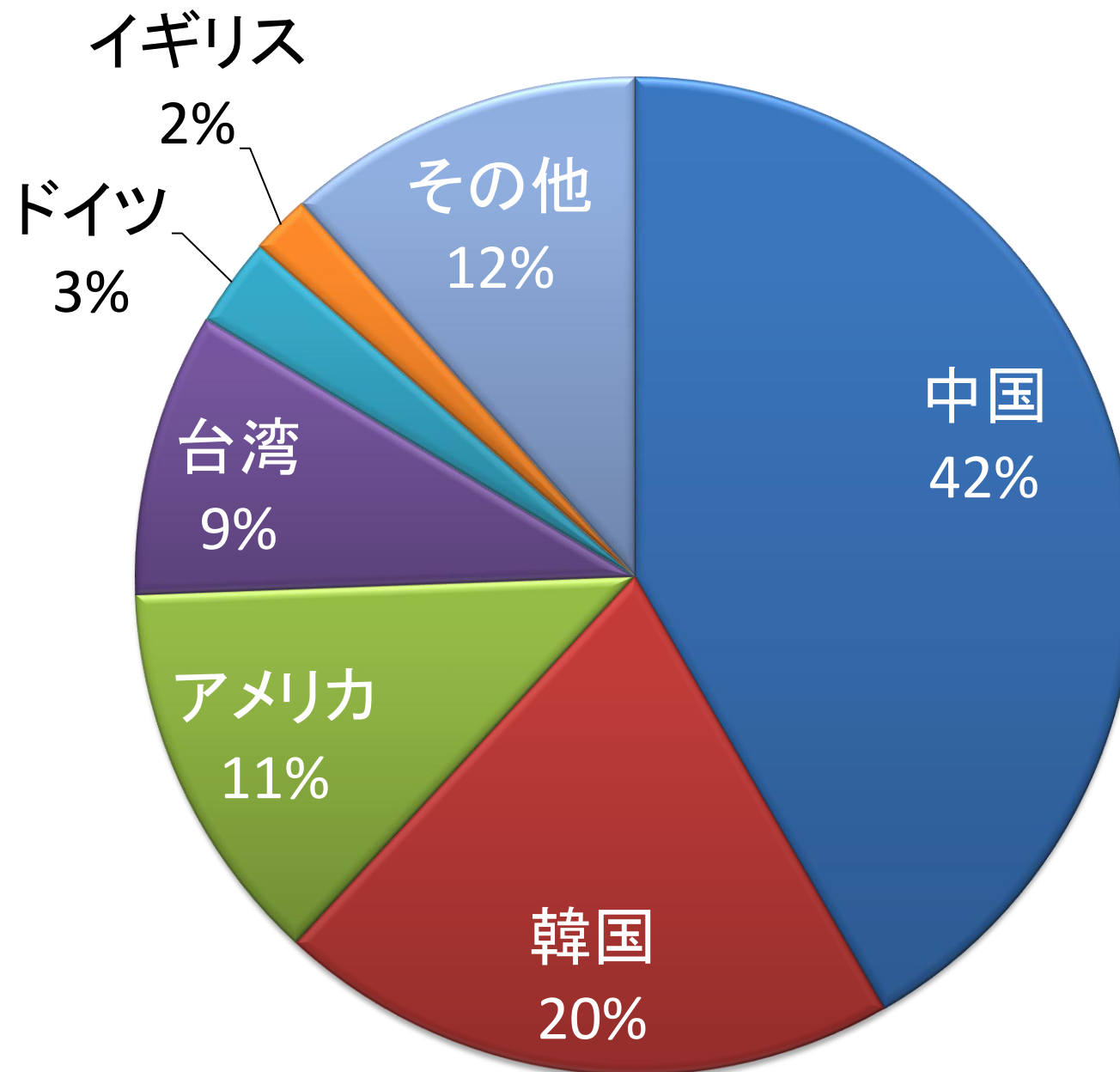
■ 課程別学生人数表

課 程	在籍者人数
全学部生数	26,176人
▼うち正規留学生数	442人
▼うち特別留学生数	5人
全大学院生数	2,466人
▼うち正規留学生数	266人
▼うち特別留学生数	17人
日本語・日本文化教育センター生*	307人
留学生別科生	188人
外国人留学生合計	1,225人

* 交換留学生、スタディー・アブロード・プログラムで受入れている留学生等

同志社大学 基礎データ（2012年5月1日現在）

留学生の国籍割合



その他の国籍内訳

- ・ イタリア
- ・ インドネシア
- ・ オーストラリア
- ・ オランダ
- ・ カナダ
- ・ シンガポール
- ・ タイ
- ・ ネパール
- ・ フランス
- ・ フィンランド
- ・ ベトナム (他 33ヶ国)

同志社大学が開設している英語コース※

※英語コース…英語の授業のみで学位が取得できるコース

▼国際教育インスティテュート

＊ 2011年4月に設置
国際教養コース

▼ビジネス研究科ビジネス専攻

＊ 2009年9月に設置
グローバルMBAコース (GMBA)

▼グローバル・スタディーズ研究科

＊ 2010年4月に設置
アメリカ研究クラスター
グローバル社会研究クラスター

▼工学研究科／生命医科学研究科

＊ 2010年9月に設置
国際科学技術コース

同志社大学が開設している海外拠点

海外事務所	設置時期	地域・国
台北事務所	2009年4月	台湾
ロンドン事務所	2010年1月	イギリス
ハノイ事務所	2010年1月	ベトナム
北京事務所 ※中国人民大学内	2010年4月	中国
上海事務所 ※復旦大学内	2011年3月	中国
ソウル事務所	2011年4月	韓国
イスタンブール事務所	2012年7月	トルコ

日本語・日本文化教育センター

▼日本語・日本文化教育センター／留学生別科(CJLC)

Doshisha University Center for Japanese Language and Culture

同志社大学に在学するすべての外国人留学生に対する日本語・日本文化教育を担う目的で **1999年4月に留学生別科として開設**。

国際主義教育の更なる推進のために、外国人留学生の受入れから、充実した科目の設置・提供による教育支援や生活支援、海外からの短期プログラムの受入れおよび実施等、本学の「海外からの受入れ」に関わるあらゆる業務を担っている。

2009年4月に「指定日本語教育施設」（日本語予備教育機関）として国に認定。

※海外日本語・日本研究のスタディー・アブロード・プログラム拠点である、

- AKP同志社留学生センター
- チュービンゲン大学同志社日本語センター
- スタンフォード日本センター／スタンフォード技術革新センター
- シェフィールド大学同志社センター
- 京都アメリカ大学コンソーシアム

に所属する外国人留学生の受入れや留学生別科の運営も担当している。

2013年の今出川校地

▼コンセプト

- リベラルアーツ型教養教育、ゼミナールを中心とした専門教育を展開する文系学部教育の拠点
- 専門職大学院や独立研究科等を中心とする高度専門職業人養成の拠点
- 海外の一流大学が集積する**国際的キャンパス**

▼8学部・10研究科・1インスティテュート

- 神学部・神学研究科
- 文学部**・文学研究科
- 社会学部・社会学研究科
- 法学部**・法学研究科
- 経済学部**・経済学研究科
- 商学部**・商学研究科
- 政策学部・総合政策科学研究科
- 国際教育インスティテュート
- グローバル地域文化学部**
【2013（H25）年4月開設】
- グローバル・スタディーズ研究科
- 司法研究科（ロースクール）
- ビジネス研究科（ビジネススクール）

※学部1、2年次生の勉学校地が京田辺校地から今出川校地に変更

2013年の京田辺校地

▼コンセプト：Creative Hill

理工系と文理融合学部が集積し、

- 「実験・実習、フィールドワーク」を重視する複合的教育拠点
- 「身体・生命、先端技術、情報」に関する**国際的先端研究拠点**

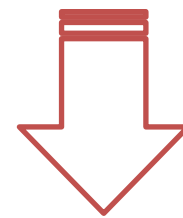
▼6学部・6研究科

- 文化情報学部・文化情報学研究科
- 理工学部・理工学研究科
- 生命医科学部・生命医科学研究科
- スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科
- 心理学部・心理学研究科
- グローバル・コミュニケーション学部
- 脳科学研究科

グローバル化の加速の背景

▼グローバル化の加速

- 国際連携推進機構の設置【平成18年度】
- 同志社大学アクションプランの策定【平成20年4月17日】
「同志社らしい国際主義の実質化に向けて」
※「教育、研究、ガバナンス・管理運営に関する同志社らしい国際主義の実質化に向けた基本方針10項目のアクションプラン74項目」



- 『留学生30万人計画』骨子の策定【平成20年7月29日】
- G30への申請・採択【平成21年度】
 - 留学生の受入れ・送り出しの大幅に増加
 - 英語コース（英語の授業だけで学位取得が可能）の設置
- ※国際化に向けた全学的な協力体制が確立→全学で目標を共有

文部科学省「平成21年度国際化拠点整備事業（グローバル30）」の取組概要

国際関連の学部・英語コースの開設・充実

派遣留学制度の充実

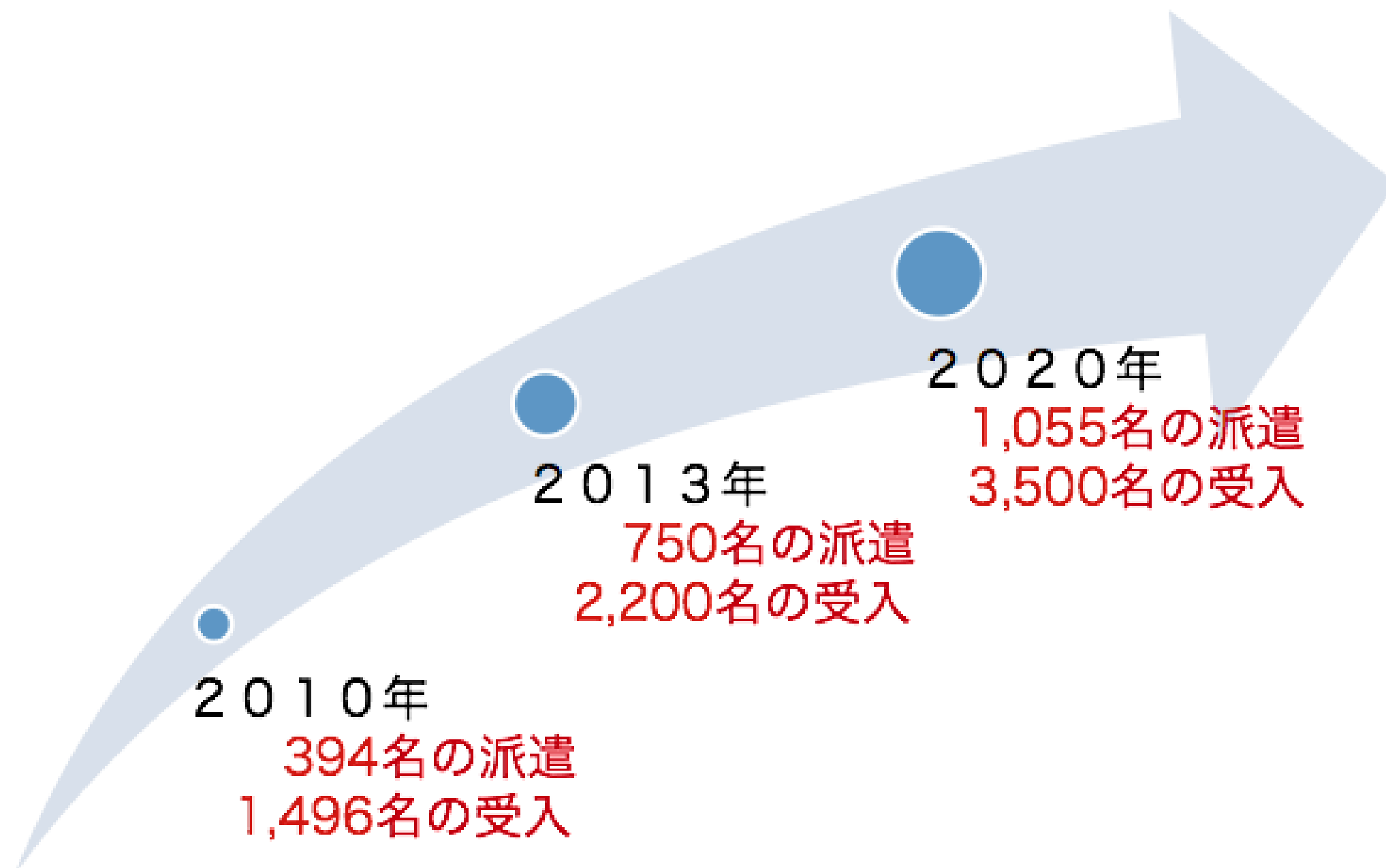
留学生受入体制の整備

海外大学との国際交流・教育連携などの拡大

海外教育研究拠点の整備

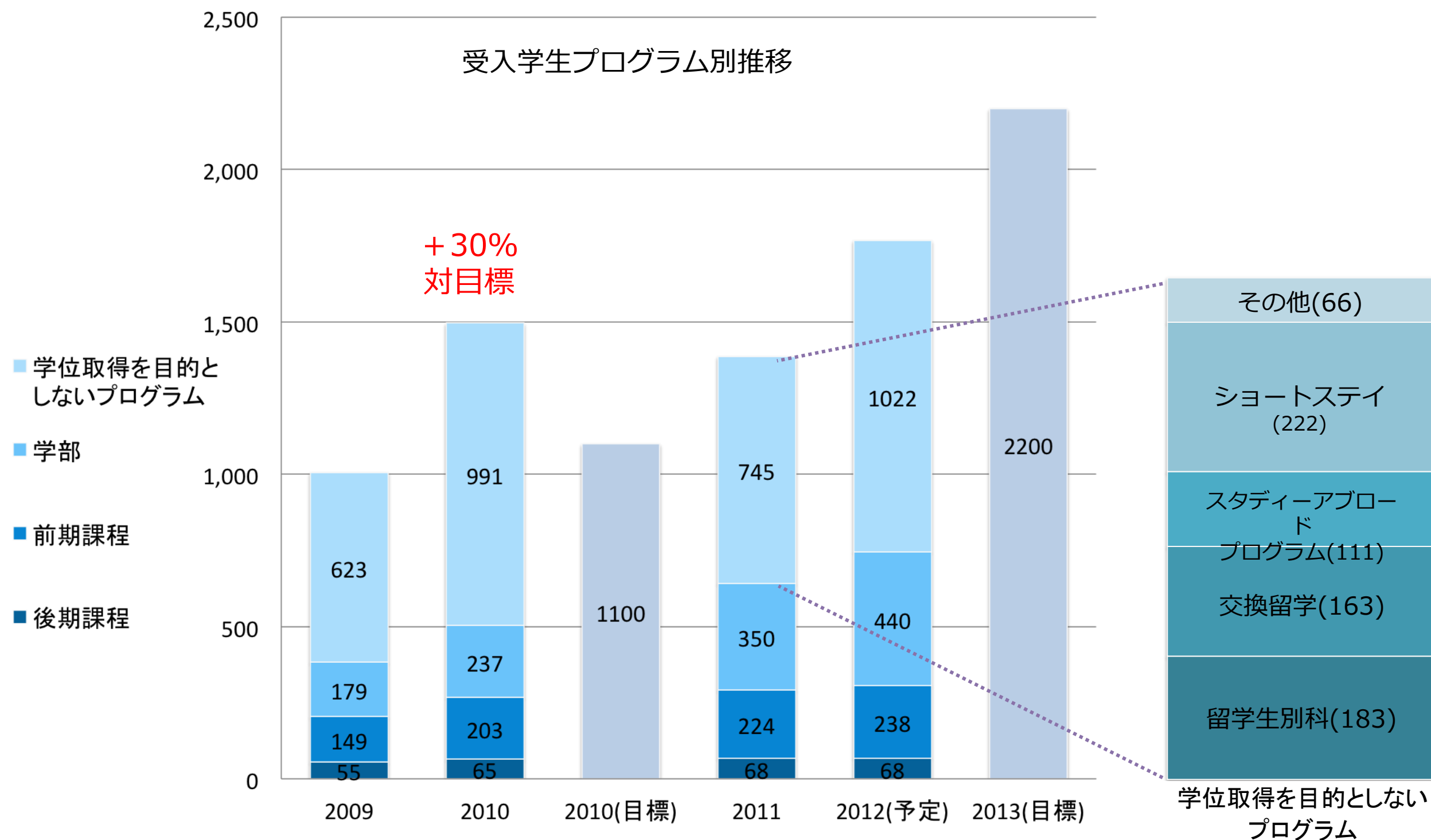
文部科学省「平成21年度国際化拠点整備事業（グローバル30）」の数値目標

- 学部・大学院において質の高い外国人留学生を受入
- 学部生・大学院生の積極的な海外派遣留学を促進・支援

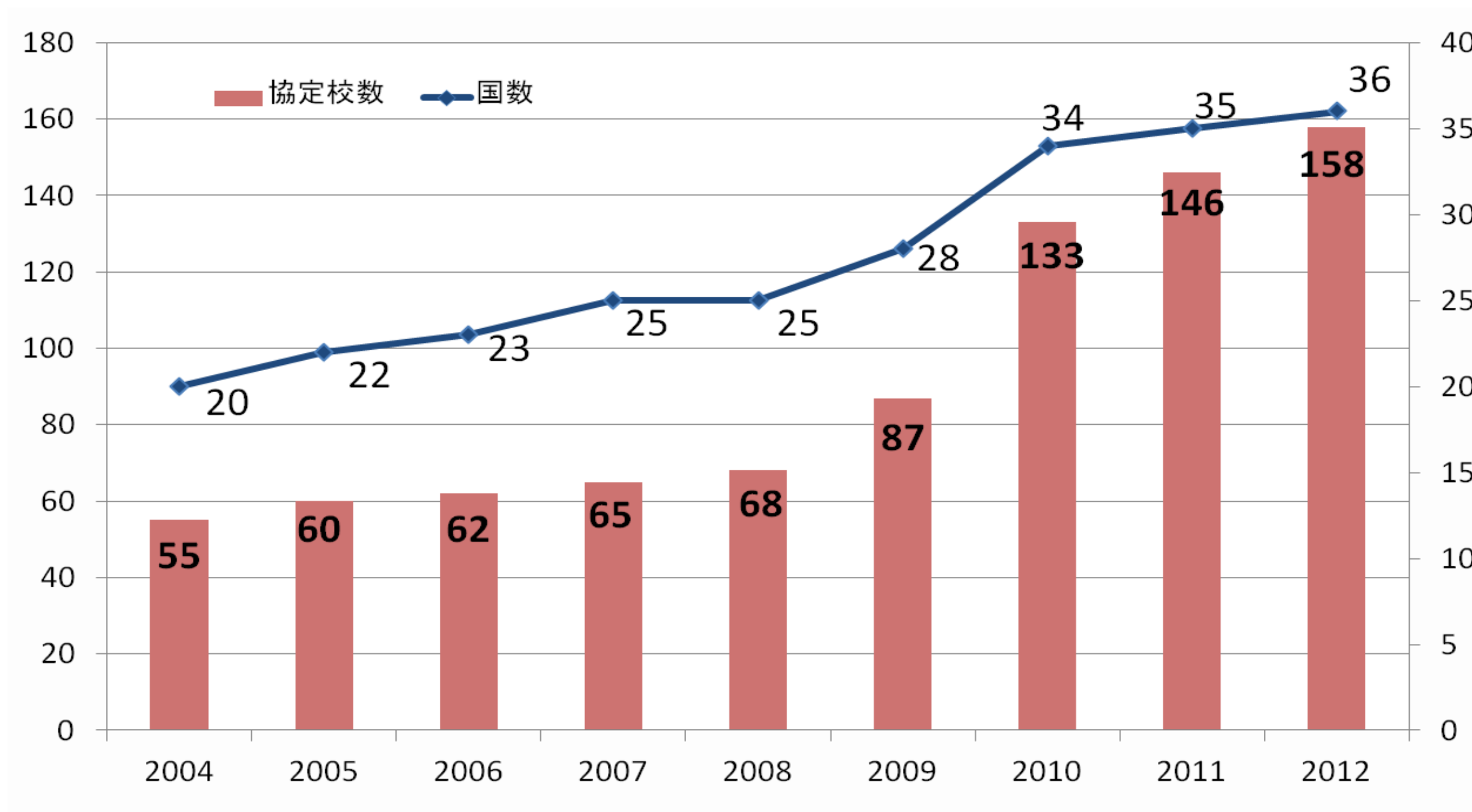


外国人留学生（特別学生含む）の推移

受入学生プログラム別推移



過去9年間（2012年4月まで）の協定校数、国（地域）の推移



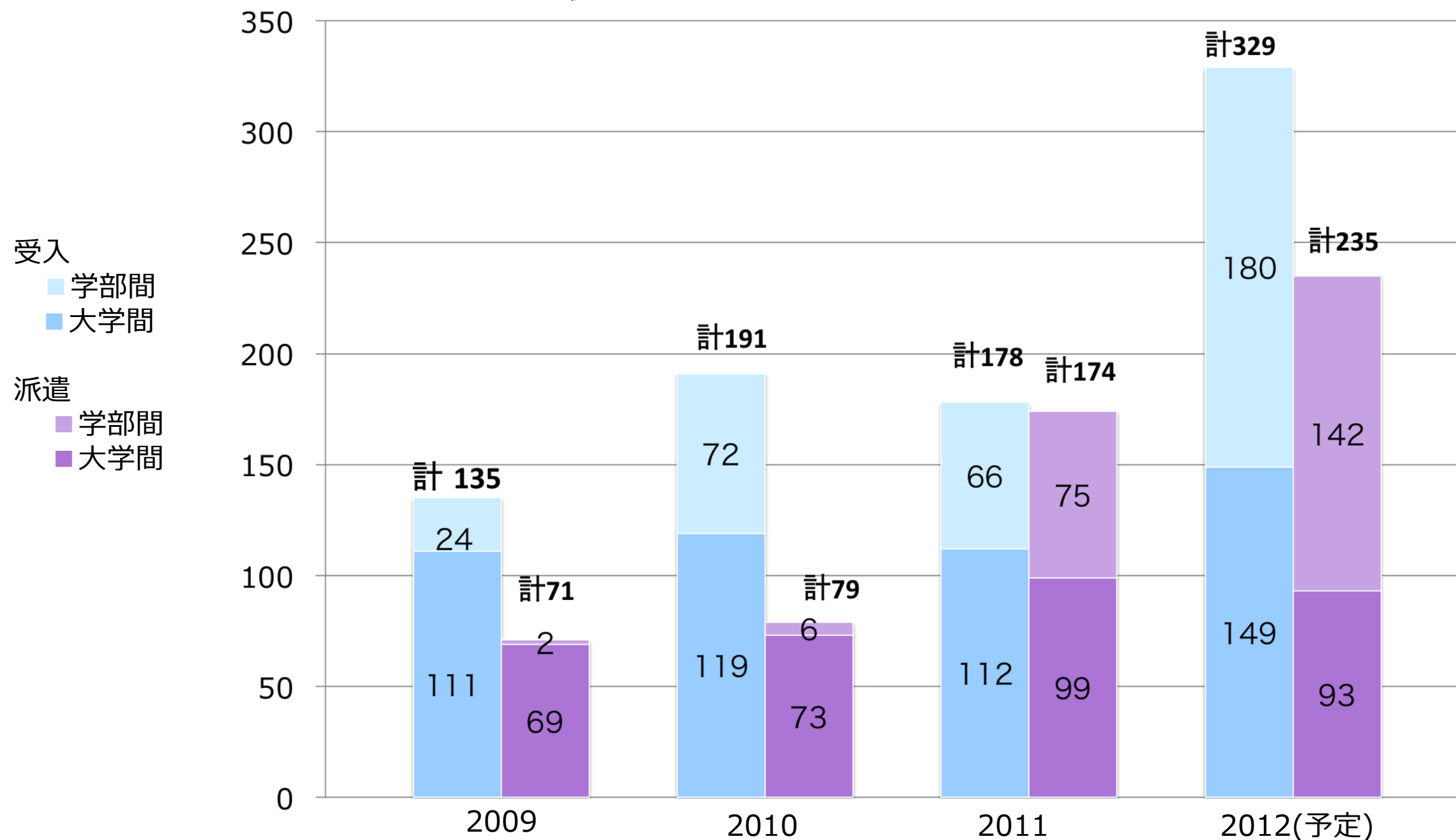
その他:

学部/研究科間協定: **26**カ国中 **78**大学

研究センター間協定: **10**カ国中 **13**大学

協定に基づく留学生（受入と派遣）の推移

協定に基づく学生の受入・派遣人数



グローバル化の加速の背景



●グローバル人材育成推進事業への申請・採択【平成24年度】

高度な外国語運用能力を基礎的資質としつつも、キリスト教の徳育に基づき、自由でのびやかな進取の気性に溢れ、「良心を手腕に運用する」ことのできる、「考動する」グローバル人材（Global Competenceを有する人材）を輩出する。

有機的に連携した2つの教育プログラムである、留学を含む教育実践取組の「留学型」と、国内にしながらグローバル人材と成り得る教育を実践する取組の「国内型」を設定する。

- 教育課程の国際通用性の向上→『事務体制のグローバル化』も推進
- 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組
- 教員のグローバル教育力の向上 + 日本人学生の留学を促進するための環境整備
- 日本人学生の留学を促進するための環境整備

同志社大学の生活支援

▼生活支援

●留学生専用宿舎の拡大

→受入れの増加に対応して、**500室を800室へ拡大**

●授業料減免奨学金（20%～100%）の適用

●大学奨学金の給付、民間奨学金の案内・選考

●**住宅総合補償制度**

→民間住宅入居希望者に大学が連帯保証人となる**本学独自の**

保証人補償制度を導入

（借家人賠償責任特約等付帯普通傷害保険も付加）

●**生活支援アドバイザー制度**

同志社大学の生活支援

▼生活支援

- 日本人学生ボランティアによる各種支援
出迎え、短期プログラムの語学パートナー、国際交流イベント
補助など
- 各種交流イベント
留学生歓迎会・送迎会（春・秋2回）、オリエンテーション、
インターナショナルデー
- 英語によるカウンセリングが可能なカウンセラーを配置
- アンケート調査の開始（生活実態の把握・改善のため）
- 海外での父母懇談会の実施（現在は、韓国のみ）

生活面における問題

■ 身体

- 薬、既往症
- 障がい者・発達障がい
- 性同一性障がい



生活面における問題

■心理

- 不登校
- ホームシック
- 恋愛
- 引きこもり
- あせり



生活面における問題

■ 異文化・異なる環境（文化的な背景等）

- プライバシー
- 学歴差別
- 徴兵制度
- ヘリコプターピアレンツ
- 公と私、個と集団
- 他国への偏見
- 教育制度の違い



生活面における問題

■ 宗教等

- 儒教
- ムスリム
- ベジタリアン
- 罪悪への意識の違い



生活面における問題

■危機管理、事件・事故

- 事故、怪我、入院
- 盗難
- 騒音
- 嫌がらせ



課題

▼生活支援ネットワークづくり

- 学生、教職員、市民、市・府、企業の連携・包括的な支援
→異文化理解
- 宿舍の提供←家賃の滞納
- 法律問題の解決支援
- 地域との交流（地域イベント、小学校などでの国際交流）

▼充実した生活支援・快適なキャンパスライフの実現

- 充実した設備の宿舍の提供
- 課外での外国人留学生と日本人学生との交流の促進→クラブ活動等
- 多言語によるカウンセリング←ひきこもり等
- メディテーションルームの設置（モスリム等）
- 食堂の対応（成分表示＝ハラル食、ベジタリアンなど）

職員の役割

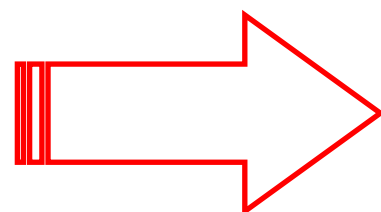
▼学生・教員が国籍や言語の垣根を意識することなく、
快適に学習・研究・教育に専念できる環境づくり

▼異文化間の交流・異文化理解（コミュニケーション・コラボ
レーション）の促進・コーディネート→機会の演出・創出

- ・ 正課（国際教養科目群、専門科目）→共修
- ・ 課外（ボランティア、クラブ、留学生会、国際交流サークル）
- ・ 研究（ダブル・ディグリー）→共創
- ・ 学生・教員との連携
- ・ 行政（国、府、市、区）との連携
- ・ 企業との連携
- ・ 地域やNPOとの連携

国際関連部門の職員に要求されるもの

- 文化的・歴史的な背景の理解
 - 文化、慣習、宗教、教育制度
 - 歴史認識（双方の立場から）→ 異文化の理解・尊重・受容
- 政治・経済情勢の把握
 - 政治や経済（為替等）情勢の影響
 - 奨学金・宿舍（本当に必要な学生へ）
- 大学を取り巻く環境の変化を察知
 - 制度改革への対応



語学力 $\times(+)$ $\alpha \times(+)$ $\alpha \times(+)$...

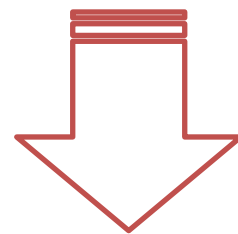
KEYWORDS

■ Internationalization と Globalization

■ Normalization

■ Localization

Oneness(Global Competence)



提案し、実行できる職員へ
→個々の職員の自立的なスキルアップ

Image Perspective of a New Campus

Towards a Better Cozy Campus

Restructuring of IMADEGAWA Campus in 2013



Learning Commons

